

# 令和6年度 宮城県南郷高等学校 「学校運営方針」

目指す  
生徒像

**教育目標** 「教育基本法」及び「宮城県教育振興基本計画」に基づき、「礼譲和協」の校訓にふさわしく、地域社会の発展に貢献できる人材を育成する。



**校訓 礼譲和協**  
 礼：高い規範意識を持ち礼儀作法を重んじ、敬意をもって接する人となる。  
 譲：相手の立場に立って物事を考え行動する人となる。  
 和：友情を育み、健全な人間関係を築く人となる。  
 協：仲間を助け支え合うことで、自らを高めていく人となる。

教育方針	経営方針	学科目標
1 生涯にわたり自ら学ぶ意欲・関心の喚起、またその度の育成のための、基礎基本を重視した学習指導を行う。 2 個性の伸長と心豊かな人間性の涵養のためのきめ細かな生活指導を行う。 3 地域社会に貢献できる基礎的専門知識・技能を持った人材を育成する。	学校教育目標及び重点目標を達成するために、以下の方針で令和6年度の学校運営を行うこととする。 1 志教育を推進する学校づくり 2 特色と魅力ある学校づくり 3 いのちと個性を大切に作る学校づくり 4 地域とつながる学校づくり	<b>【普通科】</b> 生徒一人一人の能力や適性に応じ、基礎的・基本的な知識を習得させ社会人として必要な能力と態度を育てる。 <b>【産業技術科】</b> 産業社会の農業・工業・商業等に関する基礎的・基本的な知識と技術を修得させ、これらの業務に従事する職業人として必要な能力と態度を育てる。

学校重点目標			
<b>個に応じたキャリア教育の実践と希望進路実現</b>	<b>魅力ある授業の推進による基礎学力の定着・向上</b>	<b>多様な行事と活動を通じて、豊かな人間性の育成</b>	<b>地域に根ざし、開かれた学校づくりと生徒数の安定確保</b>
1 志教育を推進し、第一希望の進路を達成できるよう支援する。 2 自己理解を深め、進路適性を多角的に把握し、進路目標の早期決定と希望進路の実現を計画的・組織的に指導支援する。 3 生徒一人一人の特性に応じたキャリア教育を実践し、社会的自立を支援する。 4 SDGsの達成を意識させ、一人の人間は社会（世界）の一員であることを意識させる。	1 授業の質を向上させ、学習の習慣化を図り、基礎学力の定着を図る。 2 生徒個々の学力に応じて発展的な学習や学び直的な学習の指導を行い、学力の向上を図る。 3 生活適応支援員の配置で、授業に集中できる授業展開を目指す。 4 通級による指導の理解と校内支援体制の充実を図る。	1 諸活動を通して互いに学び合い、助け合う人間関係の構築とコミュニケーション能力の育成を図る。 2 様々なボランティア活動を学校あげて推進し、命の大切さと奉仕の精神を養う。 3 日常生活の中から、礼節を重んじる心と粘り強く生き抜く力を育て自己有用感や自己存在感を高める。	1 ホームページや学校通信などにより積極的に情報公開し、一層地域に開かれた学校を目指す。 2 家庭や地域と連携し、防災教育・安全教育を推進する。 3 ボランティア活動を通して、学校の特色と魅力を積極的にPRする。 4 関係機関との連携 5 中学校訪問の実施

実践項目		
1 進路目標実現に向けた進路講話やガイダンスの実施 2 インターシップの実施 3 地元企業との連携 4 低学年からの大学・専門学校見学会、模擬講義、会社見学会の実施 5 就職支援担当教員等による積極的な進路相談や丁寧な模擬面接指導 6 オープンキャンパスや会社訪問、就職面接会への積極的な参加 7 進路通信による情報提供 8 資格取得の奨励 9 「魅力ある県立高校づくり」の積極的活用	1. 数学・英語のT・T習熟度別授業展開による丁寧な指導 2. 宿題と評価を結び付け学習意欲の向上と習慣化を図る。 3. 実力テストの実施と分析による授業の改善 4. 基礎力診断テストの有効活用による基礎学力向上 5. 校内研修の充実、研究授業の実施 6. 授業公開の積極的実施 7. 授業時間の確保 8. 進学・就職課外講習 9. タブレット端末等を活用したICT教育の推進 10. 生活適応支援員の活用 11. 通級担当職員の利用と通級による指導体制の確立	1 基本的な生活習慣の確立（挨拶と身だしなみ） 2 PTA、同窓会、地域社会との連携強化 3 学校公開・授業公開の実施、学校図書館の開放 4 学校評議員制度活用と学校評価による改善 5 学校通信の発行・ホームページの充実による広報活動の推進 6 学校説明会の充実、中学校との連携強化 7 地域主催行事への積極的参加、協力 8 生命と安全確保を第一とし、地域との絆を重視した防災教育の推進 9 中学校訪問の積極的実施

教職員の資質・能力・力量の向上
「伝統ある南郷高校」として地域に信頼されてきた学校の存在価値を可能な限り継続することを目指し、小規模校の特性を活かした生徒一人一人の個性を尊重した教育活動を実践する。 また、社会に貢献できる生徒の育成のため、職員間の共通理解に基づいた協働体制の整備し、喜びと夢がある教育活動を実践する。
1 学級経営力 2 学習指導力 3 生活指導力 4 研究・修養 5 校務処理力 6 部活動指導力